

当院で胸部大動脈の治療を受けられた患者さん・ご家族様へ

研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究は、普段の診療で得られた以下の情報を解析してまとめるものです。この研究のために、新たな検査等はいりません。ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、以下の担当者までご連絡ください。また、この研究に診療の情報を使ってほしくないとのご意思がある場合も、遠慮なくご連絡ください。お申し出以降は、その方の情報はこの研究には利用せず、すでに収集した情報があれば削除します。お申し出による不利益は一切ありません。ただし、解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】2019年7月～2024年6月の間に、胸部大動脈手術を受け退院された方

【研究課題名】胸部大動脈手術を受けた患者における退院後の手術部位感染発症に関連するセルフケア要因

【研究責任者】

国立循環器病研究センター 看護部 看護師 吉岡真由

【研究の目的・意義】

この研究は、これまでのカルテ情報等を解析し、胸部大動脈手術の術後に手術部位感染を発症した患者の手術部位感染発症に関連する要因を明らかにすることを目的としています。とくに、手術部位感染発症に関連するセルフケア要因を明らかにしたいと考えています。なお、ここでいう「セルフケア要因」は、患者が自分自身の健康を維持・増進するために必要な活動や条件を指し、すべての人に共通する基本的な健康維持のための要因である「普遍的セルフケア要因」、病気や障害など、健康が逸脱した状態にあるときに必要な要因である「健康逸脱セルフケア要因」を意味し、これらの要因と手術部位感染発症との関連が重要と考えられます。この研究の成果は、将来的に手術部位感染を発症し再入院となる患者の減少を図るための患者教育を行う際の基礎的資料になることが期待されます。

【利用する診療情報】

1) 基本情報

年齢、性別、BMI、大動脈疾患診断名、術式、手術時間、予定手術/緊急手術
同居者、就業状況、介護認定、利用している社会サービス、入院期間

2) 既往歴

喫煙歴、慢性心不全、糖尿病、アトピー性皮膚炎、ステロイド内服、微生物の保有(メシチリン耐性黄色ブドウ球菌)、脳梗塞、認知症、開胸歴

3) 術後状態(1 年以内)

挿管期間、気管切開、誤嚥性肺炎、ドレーン留置期間、鎮痛薬の定期内服期間、とろみ剤の使用、栄養状態(総蛋白、アルブミン)、絶食期間、シャワー許可日から退院までの期間、せん妄、深部静脈血栓症、創部治癒遅延、内服自己管理、退院後外来受診

【情報の管理責任者】

国立循環器病研究センター 理事長

【研究期間】研究許可日より2026 年 11 月 30 日まで（予定）

情報の利用を開始する予定日：2026 年 2 月 2 日

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所等の個人を直接特定する情報については厳重に管理し、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人を特定できない形で行います。

この文書は、研究期間中、国立循環器病研究センター 公式サイト

(<https://www.ncvc.go.jp>) の「実施中の臨床研究」のページに公開しています。将来、この研究の計画を変更する場合や、収集した情報を新たな研究に利用する場合は、研究倫理審査委員会の承認と、当機関の許可を受けて行われます。その際も、個別にお知らせしない場合は、同ページに公開いたします。

【この研究の結果について】

この研究は、ご自身またはご家族の健康に関する新たな結果が得られるものではありませんので、研究の結果を個別にお知らせすることはありません。

【問合せ先】

国立循環器病研究センター 看護部 看護師 吉岡真由

電話：06-6170-1070